TOMO Lab

日常の喧噪を離れ、論文執筆に全集中する1日

英語論文執筆のための ライティング・リトリート

ファシリテーター2名が、あなたの論文執筆に伴走します。

スタート記念 特別価格

日時	2025年5月3日(土) 9:00～18:00
場所	ルームス赤坂（赤坂駅徒歩2分）
参加費	22,000円（税込み） *昼食、リフレッシュメントも含まれます。
使用言語	日本語・英語
申込方法	専用フォームからお申し込みください https://forms.gle/LM1eSYJWKrYqCKrY9
締切	2025年4月29日(火)

ファシリテーター

山本ベバリーアン

私は20年前に大阪大学に着任した際、大学院教育の充実のためにライティング・リトリートを導入しました。スコットランドからロウィーナ・マレー教授を招き、集中講座とともにリトリートを開催し、自身や大学院生の論文執筆が大きく前進するのを実感しました。その後もリトリートの実践と研究を重ねてきた私が、日本で独自のライティング・リトリートをお届けします。

イギリスの大学院で学位論文執筆中にライティング・リトリートの効果を体験しました。私にとって第2言語である英語で、10万語の論文を書き上げるために、ライティング・リトリートは絶大なるサポーターでした。そのエッセンスを余すことなくお伝えしていきます。

友松郁子

TOMO Lab合同会社　info@tomolab.jp

TOMO Lab

プログラム

9:00	受け付け
9:15	オリエンテーション、ゴールの設定
9:45	プランニング
10:00	ライティング（60）
11:00	休憩
11:30	ライティング（60）
12:30	アクティビティ
13:00	昼食
14:00	ライティング（90）
15:30	休憩
16:00	ライティング（90）
17:30	休憩、成果の確認,フィードバック、次のタスクの確認
18:00	終了

ライティング・リトリート事前準備

- ライティング・リトリートで使用する論文を決め、どのように書き進めるかおおよその構成を組み立てる。
- ライティング・リトリートの目的等を明確に把握するために、以下の二つの文献を読む。
  - Murray, Rowena and Mary Newton. 2009. “Writing Retreat as Structured Intervention: Margin or Mainstream?” *Higher Education Research & Development* 28(5): 541-553.
  - Murray, Rowena and Beverley Anne Yamamoto. 2019. “Writing retreats for Japanese second-language graduate students: Beyond the language deficit model” *Journal of Academic Language & Learning* 13(1): A1-A14.
- 論文を書く上で必要になりそうな文献を読み、ライティング・リトリートでは執筆作業に集中できるように準備をする。
- ライティング・リトリートの際に必要になりそうな文献をダウンロードする。

当日持参するもの

パソコン・充電器・USBメモリー・ノート・アウトライン・データ・文献など

事前準備で迷われたり、当日の持参するものについて質問がある場合は、
事務局宛てにメールでお問い合わせください。

お問い合わせ先　　info@tomolab.jp